

下関市立大学広報

青島大学で研究交流会 日中流通問題国際学術シンポジウム

青島大と本学との国際共同研究事業が、2004年の秋から始まっています。2004年10月には、青島大学における両学交流15周年記念式典に併せて、国際共同研究の推進を図るために学術交流会を開催しました。昨年12月22日に青島大学国際学術交流センターで行われた今回のシンポジウムは、両学の共同研究にとっては2回目の学術交流会になります。本学の研究チームは「青島市・山東省の流通問題」をテーマとして、総勢4名で調査・研究活動に取り組んできました。

この「日中流通問題国際学術交流シンポジウム」と銘うった交流会によって、本学提案テーマに基づく研究交流が本格的に実現されたのです。両学教員・院生60余名出席のもと、夏臨華青島大学学長ならびに道盛誠一本学産業文化研究所所長による開会挨拶によって開始され、都合10時間におよぶ報告とコメントが展開されました。



市大法人化への基本姿勢 苦渋の選択を希望の創造へ

学長 堀内 隆 治

市長の法人化方針を受けて、大学として法人化準備に入る決断をしました。地方行政独立法人法による設置者の選択を尊重し、法人化準備のなかで大学の意向を可能な限り反映させる所存です。以下3点、大学としての基本姿勢を表明します。

1. 市大50年の歴史と伝統を守り、小規模大学に相応しい法人化を図ります。

本学は教授会を中心に教職員・学生の知恵と努力によって、文科系公立大学として一定の評価を得てきました。今後とも「地域に根ざし、世界を目指す」という大学の理念に沿って、大学改革を進めます。法人化は大学改革の手段です。本学の理念実現のために、教授会自治（学校教育法）を遵守し、本学に相応しい法人化を図るよう努力します。

2. 適切な水準の運営費交付金の措置を求めます。

公立大学法人化に際して、小規模大学が苦慮している問題は財政的困難です。法人化を契機に市大の財政構造の抜本的な改善を設置者に要請します。具体的には市による建物建設費の保障と毎年度の運営費に対する市交付金の十分な措置を求めます。

3. 東アジア共生に向かって一市大改革の将来構想

社会的ニーズの変化に対応し、市大経済学部を伝統を生かしつつ、学部再編を構想します。地域に密着した研究教育、IT時代に対応した情報関連の強化、アジアの時代に対応した東アジア共生の3本柱を特色として、現在の学科構成を再編し、経済学科・経営情報学科・東アジア学科の3学科体制とする構想です。



プログラムは、本学佐々木研究員と張洪慧青島大教授の報告ならびにコメント（本学道盛所長）で開始され、さらに本学吉津研究員と崔曉林青島大教授の報告ならびにコメント（戴更新青島大副教授）で午前のセッション終了。午後は、鍾永光青島大助教授による報告で開始され、本学井欣研究員、趙建軍青島大助教授、さらに青島で騎虎の勢いのサンシャイン百貨店社長楊晨光氏による報告並びにコメント（張洪慧青島大教授）で第1セッション終了。休憩後の第2セッションでは、本学侯研究員による報告並びに青島大院生による報告4本が行われ、本学佐々木教授によるコメントで締めくくられました。

最後に、このシンポジウム開催日前夜に邵峰晶青島大副学長による歓迎宴が、シンポジウム当夜にも夏臨華学長による歓迎宴が催され、両学友好についての青島大学側の熱意が積極的に両氏から表明されたことを報告しておきます。今回の研究交流の場で、本学が提示した次期テーマ「観光」が積極的に支持されるとともに、次年度研究開始とともに両学教員の協働で開始される見通しが立ったことも申し添えておきます。（産業文化研究所長 道盛誠一）

青島大学の訪問団来学

昨年、11月8日と9日の両日、邵峰晶・青島大学副学長を団長とする5名の訪問団（うち2名は青島大学音楽学院の学生）が本学を訪れた。8日に、歓迎の夕食会が開かれ、本学の教職員と旧交を温めた。翌日、青島大学との国際シンポジウムの事前打ち合わせが行われた。

この間、音楽学院の学生2名は、本学の中国語の授業に飛び入り参加し、学生の歓迎を受けたあと、王娟娟さんが、学生の前で専攻の胡弓の演奏を披露してくれた。20分ほどであったが、情感たっぷりで、しかも迫力ある演奏に拍手が鳴りやまなかった。



大学祭を終えて

経済学科3年 嶋田和弘

大学祭実行委員長として最後の一年、長いようであつという間でした。最初は80名を超えるメンバーをちゃんとまとめる自信は全くありませんでした。しかし今回は今まで以上の団結力と行動力をもった最高のメンバーになりました。その要因として、ボランティアへの参加が重要な役割を果たしたと思います。今年も、海峡祭り、海峡花火大会、馬関祭りなどの地域の祭りにボランティアとして参加させていただきました。どれも肉体的にも精神的にも辛いものばかりです。しかし、辛い仕事でもみんなで助け合い、楽しみながらやることで、団結力や精神力が養われていきます。そして何より祭りを運営する側の楽しさを実感することができました。そのことは大学祭を運営していく上で大きな力となったと確信しています。

また、今年は何かと新しいことに挑戦した大学祭でした。初の教室でのコンサート、学生を取り入れ講演会をお笑いライブへ変更、演武会やブラスバンド演奏などの屋外ステージへの移行、大学周辺早朝ゴミ拾いをサークルの方々にも協力してもらうなど、様々なことを試みました。どれも好評を得て大学祭も大成功に終わりました。多くの人たちの協力があってこそのことだと思います。協力していただいた皆様へは感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に、自分勝手に馬鹿なことばかりやっていて、駄目な委員長でしたが、そんな私を優しく支えてくれて、大学祭を大成功に導いてくれた第44代大学祭実行委員会のメンバーを本当に誇りに思います。みんなに会えて、一緒に仕事ができただけが私の大学生活で一番の宝物です。



推薦入学・特別選抜・編入学試験を実施

2005年11月19日(土)、本学において2006年度推薦入学・帰国子女特別選抜・編入学試験を実施した。募集人員、志願者並びに合格者等の実数は、下表に示すとおりである。

全国推薦における受験者に対する合格者倍率は、受験者数の若干の減少によって、経済学科で1.0ポイント、国際商学科で0.5ポイント減少したが、地域推薦の倍率は概ね昨年度なみとなった。

入試実施結果

学 科	入 試	定員	志願者	受験者	合格者	倍 率
経 済 学 科	推薦 全国	31	70(102)	70(102)	31(31)	2.3(3.3)
	入試 地域	33	47(43)	47(43)	34(33)	1.4(1.3)
	帰国子女	2	-	-	-	-
	社会人	3	-(1)	-(1)	-(1)	-(1)
	編入学	10	30(18)	25(17)	10(9)	2.5(1.9)
国際商 学 科	推薦 全国	31	62(73)	61(73)	32(31)	1.9(2.4)
	入試 地域	33	24(47)	24(47)	20(33)	1.2(1.4)
	帰国子女	2	1(-)	1(-)	0(-)	-(-)
	社会人	3	-(1)	-(1)	-(1)	-(1)
	編入学	10	16(22)	15(20)	8(4)	1.9(5.0)

注：() 内数字は2005年度入試実績数。

川棚で市民大学シンポジウムを開催



11月26日午後、川棚公民館(下関市川棚町)で第22回市民大学のテーマ講座のシンポジウムが開催された。テーマは、「新しい市になったのだから…地域づくりの取り組みをいっしょに考えてみようー観光から歓交へー」、下関21世紀協会との共同企画である。「歓交」とは従来の物見遊山型の観光ではなく、人と人が歓び交わるような交流の場をつくり出すという意味(大分県安芸院町の造語)。

シンポジウムは全3部構成で、第1部は「歓交取り組みの実践報告」と題し、旧1市4町の各地域から、新谷哲雄氏(歌野の自然とふれあう会)、伊藤修二氏(豊田町ホテル研究委員会)、熊井清雄氏(白滝山愛好会)、戸島睦博氏(島山民族資料館館長)、原和人氏(下関21世紀協会)がそれぞれの活動を報告された。第2部は、長崎県水俣市から地元学の第一人者である吉本哲郎氏を招いての講演「三つの元気、三つの経済」。第3部は、道盛・産業文化研究所所長の司会で、第1部の報告者と吉本氏、そして本学の坂本紘二教授によるパネルディスカッションを行った。旧郡部で初めての開催であったが、100名程度の来場者があった。

大学院経済学研究科学生募集(第二次)

以下の要領で平成18(2006)年度学生募集を実施する。

大学院経済学研究科修士課程

募集人員 経済社会システム専攻 若干名
国際ビジネスコミュニケーション専攻 若干名
選抜期日 平成18(2006)年3月18日(土)
試験場 下関市立大学 下関市大学町二丁目1番1号
選抜方法 出願書類・筆記試験・口述試験による総合評価
出願期間 平成18(2006)年2月14日(火)から
2月21日(火)まで(必着)
出願方法 出願資格に関する詳細は本学教務係へ
合格発表 平成18(2006)年3月22日(水)
午前10時 下関市立大学

平成17年度就職状況

平成18年1月15日現在の就職内定状況は、内定率76.51%であり、前年同時期の74.64%に比較すると、1.87ポイント高くなっており、3月卒業時には、前年の就職内定率94.23%以上に達成するものと想定している。

今年は、就職内定者の報告状況は好調で、就職全体に明

るい兆しが見えている。中でも山口銀行に6名内定するなど、金融業への就職が目立っている。ただ、公務員については、全体として厳しい状況が続いている。新4年生には、一層の健闘を期待したい。

建設業 エルクホームズ㈱ ㈱オンテックス ㈱原弘産(2) 大和ハウス工業㈱ 飛島建設㈱ ㈱六吹工務店(2) タマホーム㈱ 清水建設㈱広島支店 製造業 食料品・タバコ 名古屋製菓㈱ ヤマサ蒲鉾㈱ ㈱モーツアルト 農水フーズ㈱ 日本食研㈱ 製造業 繊維工業 ㈱ワールド(2) ホップグループ 製造業 印刷 ㈱アカマ印刷 製造業 化学・石炭 小野薬品工業㈱ 前澤化成工業㈱ 横浜ゴム㈱ 三協化成産業㈱ 沢井製薬㈱ 日本配合飼料㈱ メナード化粧品㈱ 製造業 鉄鋼・金属 ㈱アステック入江 東プレ㈱ 立山アルミニウム工業㈱ 製造業 一般機械器具 井関農機㈱ ㈱長府製作所 長州産業㈱ アマノ㈱ トリニティ工業㈱ ㈱タダノ 長府工業㈱ 大和冷機工業㈱ 製造業 電気機械器具 ㈱村田製作所 武蔵エンジニアリング㈱ 大分キャノンマテリアル㈱ 日本圧着端子製造㈱ 三浦工業㈱ 三菱電機㈱ 製造業 運輸用機械器具 大同メタル工業㈱ 日本輸送機㈱ 製造業 精密機械器具 ㈱セントラルユニ 製造業 その他 ㈱不二レーベル タカラスタンダード㈱ 情報・通信 ㈱デジタルビジョンソリューション テレビせとうち㈱ ㈱毎日コミュニケーションズ ㈱モリサワ 宇部情報システム㈱ 富士ソフトABC㈱	㈱山陽新聞社 ㈱トスコ 京セラコミュニケーションシステム㈱ 山口情報処理サービスセンター(2) 日本コンピュータシステム㈱ ㈱ティ・エス・ティ ㈱セイノー情報サービス ㈱TKC 日本システムウェア㈱ 国土情報開発㈱ ㈱ウィニシス ㈱バルコグループ BTVケーブルテレビ㈱ 富士ゼロックスシステムサービス㈱ 運輸 ヤマトロジスティクス㈱ ㈱上組(5) 関光汽船㈱(7) 福山通運㈱(2) 宇部興産海運㈱ センコー㈱(2) ウロコ冷蔵㈱ 三金港運㈱ 下関海陸運送㈱(2) 日本通運㈱下関支店 伊予鉄道㈱ ㈱福岡エアサービス 新東京旅客サービス㈱ 鴻池運輸㈱ 郵船航空中国㈱ エア・ニッポン㈱ ㈱二葉 卸売業 極東貿易㈱ 大西商事㈱(2) 東果大阪㈱ ㈱大島屋 ㈱アビステ ダイワボウ情報システム㈱ ㈱交洋 ㈱エクシス ㈱ジーネット ㈱エパルス 岡山リコー㈱ 岩崎グループ 花王販売㈱ ㈱トーカン 日本アクセス㈱ ㈱西原商会 三共水産㈱ 仁田商事㈱ ㈱サンフェルメール ㈱メタルワン九州 カミ商事㈱ ㈱日本アクセス ㈱オークワ 前田機工㈱ ㈱HTS 鴻池メディカル㈱ DELL 福本電機㈱ 植松エネルギー㈱ 小売業	㈱京セラソーラーコーポレーション 香川トヨペット㈱ ㈱イケヒココーポレーション 山口マツダ㈱ ㈱ヤマダ電機 ㈱井筒屋(2) ㈱雑貨屋ブルドック たけうちグループ(4) 新日薬品㈱(2) ゼビオ㈱ ㈱マルナカ ㈱ジモス 山口ゼロックス㈱ 島根マツダ有限会社 ネットヨタ福岡㈱ ㈱インテリアセンター 山口スバル㈱ はるやま商事㈱ ㈱レッド・キャベツ サークルケイ四国㈱ ㈱エコピッツ ㈱エブリワン(2) ㈱セブンイレブン・ジャパン 福岡トヨタ自動車㈱ ㈱信用産業 北九州ダイハツ販売㈱ ㈱サンキュードラック(4) ㈱コスモス薬品 青山商事㈱ ㈱フタタ ㈱スコルビオ ㈱丸久 ㈱ファーストリテイリング ネットヨタ山口㈱ 生活協同組合コープやまぐち ㈱ヤノメガネ トヨタカラー広島㈱ ㈱レッドバロン メガネの田中チェーン㈱ ㈱フジ ㈱天満屋 ㈱ミスターマックス トヨタカラー愛媛㈱ 福岡スバル㈱ ㈱ヨドバシカメラ ㈱マルヨシセンター ㈱ファイブフォックス 広島トヨペット㈱ ㈱マナベ・インテリアハーツ 山口トヨペット㈱ ㈱スズキ自販山口 ㈱白光 山口自動車販売㈱ ㈱宮崎書店 マックスバリュ中部㈱ 山口トヨタ自動車㈱ ㈱トライアルカーパニー(2) 金融業 ㈱上昇 和洗フューチャーズ㈱ 播州信用金庫 ㈱アブレック カネツ商事㈱	福井信用金庫 ㈱大垣共立銀行 ㈱南日本銀行 ㈱山陰合同銀行 ㈱広島銀行 ㈱山口銀行(6) ㈱福邦銀行 ㈱西京銀行(3) 紋別信用金庫 愛媛信用金庫 ㈱肥後銀行 ㈱鳥取銀行 野村證券㈱F.A.(2) ㈱熊本ファミリー銀行 下関信用金庫(6) ㈱フジトミ ㈱鹿児島銀行(3) 三洋電機クレジット㈱ 但馬信用金庫 ㈱トマト銀行(2) ㈱豊和銀行 ㈱九州親和銀行 大和証券㈱下関支店 国民生活金融公庫 三菱UFJ証券㈱ 呉信用金庫 新光証券㈱ 玉島信用金庫 ㈱高知銀行 広島信用金庫 オリエント貿易㈱ ㈱鹿児島銀行 兵庫信用金庫 商工組合中央金庫 広島市信用組合 福岡ひびき信用金庫 ㈱佐賀共栄銀行 ㈱中国銀行 野村證券㈱下関支店 中国労働金庫 ㈱福岡銀行 保険業 日本興亜損害保険㈱ 第一生命保険相互会社 日本生命保険相互会社山口支店 日本生命保険相互会社福岡 不動産業 ㈱レオパレス21(3) ㈱エイブル(2) ㈱原弘産 飲食・宿泊業 ㈱物語コーポレーション ㈱ジョイフル ワタミ㈱(2) ㈱フクナガ・ティアンドフーズ ㈱ドトールコーヒー ㈱ホテルニューアワジ 医療保険 医療法人博愛会 ㈱はんど 社会福祉法人くすの園 その他の教育 学校法人早稲学園早稲高等学校	㈱ゴールウィンコーポレーション ㈱東海プロセスサービス志門塾 ㈱岡山コーポレーション(2) 九大進学ゼミ ㈱ノヴァ(2) 名学館 複合サービス 佐城農業協同組合 全国酪農農業同組合連合会 白石地区農業協同組合 広島市農業協同組合 兵庫六甲農業協同組合 山口宇部農業協同組合 サービス その他 濱本法律事務所 大和証券㈱北九州支店 大和工商リース㈱ 自営(学生塾) 日本セレモニー㈱(3) 志村税理士事務所 ㈱幕末 TLCグループ(3) ㈱最新自工 ㈱ワールドインテック ㈱アサヒセキュリティ ㈱ルネッサンス ㈱京都嵯峨野 東急観光㈱ ㈱大宜 高知県信用保証協会 近畿日本ツーリスト㈱ ㈱中組 田村税理士事務所 BROOKLYMEXPROP ㈱テー・オー・ダブリュー ㈱チガミ 全国農業協同組合大分県本部 光和精鉱㈱ 西鉄旅行㈱ ㈱リンクスタッフ ㈱太央 国家公務 中国財務局 防衛庁自衛隊幹部候補生 日本郵政公社中国支社(2) 防衛庁海上自衛隊 法務省入国警備官 地方公務 山口県庁 鹿児島県警察本部 岡山県警察本部 福岡県警察本部(2) 大阪府警察本部 警視庁 山口県警察本部 滋賀県警察本部 島根県警察本部(2) 京都市役所 行橋市役所
---	--	---	---	--

世界大会に出場して

少林寺拳法部第三十二代 平田 遼(国商2年)
石橋 圭一(国商2年)



少林寺拳法国際大会第四位。この度私たちが勝ち取った成績です。この大会は四年に一度、世界中の拳士が集まって行われる、

言わば少林寺拳法のオリンピック大会のようなものです。今回は日本の福井県で開催され、国内と海外の20を超える国から約3500人の拳士が出場しました。私たちが四位になったのは男子段外の部です。この大会に出場するためには、まず都道府県別で行われる地方の大会で優勝しなければなりません。次に各都道府県の優勝者が集い、国内選考が行われます。この選考会も予選、本選と二段階あり、ここで上位三組までが日本代表となります。

少林寺拳法は護身術であり、日々の修練で突きや蹴り、投げ技などの練習を行います。それらを用いた練習法に、演武といって型のようなものがあります。今回の大会でもこの演武が競われました。

私たちの所属する下関市立大学少林寺拳法部は平成17年をもって30周年を迎えた伝統のある部です。現在の部員数は約30名で、第五代主将の井村監督のご指導の下、練習に励んでおります。また、よい先輩やOBの方々、そして互いに切磋琢磨しあえる同学年の仲間達や後輩にも恵まれており、部員の殆どが大学から始めたにもかかわらず、大会では優秀な成績を残しています。

私たちも今年で三回生となり、部を引っ張って行く立場となります。先輩方を見習い、よりいっそう部が発展していくよう努めたいと思います。

バドミントン部 女子ダブルス 全国大会出場

バドミントン部の松本美穂(国商3年)と高橋慶子(経済1年)のペアが、全国大会に出場した。昨年6月22日から26日にかけて中四国大会が鳥取市で行われたが、この大会で、約70ペアのうち3位の好成績を収め、全国大会への出場権を得た。全国大会は、10月14日から名古屋市愛知県体育館で行われたが、惜しくも日体大のペアに1回戦で敗退した。

学生団体新役員紹介

学友会執行部

・会 長 赤間 侑紀 経済学科 3年
副 会 長 田中 究 経済学科 2年
財 務 甲斐 義章 経済学科 3年

体育会

・会 長 碓 大器 経済学科 3年
副 会 長 赤間 侑紀 経済学科 3年
書 記 長 松村 政明 国際商学科 3年

文化会

・会 長 甲斐 義章 経済学科 3年
副 会 長 高橋 良江 経済学科 3年
書 記 長 藤本 先 経済学科 3年

大学祭実行委員会

・委 員 長 佐藤 幸紀 経済学科 2年
副委員長 上永 拓哉 経済学科 2年
副委員長 坂本 崇郎 経済学科 2年

2005年度(秋期)体育系サークル成績

サークル名	大会名	種 目	成績
準硬式野球	秋季リーグ戦	最優秀投手賞	2位 永田 佳久
準硬式野球	秋季リーグ戦		
準硬式野球	第52回秋季関北インカレ		2位
軟式野球	秋季1部リーグ戦		2位
軟式野球	西日本選抜軟式野球選手権		3位
ラグビー	第5回下関市7人制		1位
柔 道	第52回秋季関北インカレ	団 体	3位
硬式庭球	第52回秋季関北インカレ	男子シングルス	1位 松永 貴成
硬式庭球	第52回秋季関北インカレ	男子シングルス	2位 蒲ヶ原 真
硬式庭球	第52回秋季関北インカレ	男子ダブルス	3位 松永・柳谷
硬式庭球	第52回秋季関北インカレ	女子ダブルス	2位 池田・佐古井
硬式庭球	第52回秋季関北インカレ	男子団体	1位
硬式庭球	第52回秋季関北インカレ	女子団体	3位
バドミントン	山口県秋季バドミントン大会	女子ダブルス	1位 高橋・松本
バドミントン	山口県秋季バドミントン大会	女子シングルス	1位 高橋 慶子
バドミントン	中国・四国・九州学生選手権	女子B級団体	1位
バドミントン	全国学生バドミントン選手権大会出場	女子ダブルス	高橋・松本
バドミントン	下関・北九州地区学生	男子団体	3位
バドミントン	下関・北九州地区学生	女子団体	2位

バドミントン	下関・北九州地区学生	女子シングルス	1位 高橋 慶子
バドミントン	下関・北九州地区学生	女子シングルス	2位 松本 美穂
バドミントン	下関・北九州地区学生	女子ダブルス	2位 池田・松本
バドミントン	下関・北九州地区学生	女子ダブルス	3位 高橋・月谷
バドミントン	下関・北九州地区学生	女子シングルス	1位 高橋 慶子
バドミントン	下関・北九州地区学生	女子シングルス	2位 松本 美穂
バドミントン	下関・北九州地区学生	女子ダブルス	2位 池田・松本
バドミントン	下関・北九州地区学生	女子ダブルス	3位 高橋・月谷
バスケットボール	第52回秋季関北インカレ		3位
卓 球	第52回秋季関北インカレ	男子団体	3位
卓 球	第52回秋季関北インカレ	女子団体	2位
水泳愛好会	第8回山口県体育大会	50m背泳ぎ	1位 山田 雅也
水泳愛好会	第8回山口県体育大会	100m背泳ぎ	1位 山田 雅也
少林寺拳法	中国大会	男子初段の部	1位 平田・石橋
少林寺拳法	中国大会	男子初段の部	2位 平塚・渋谷
少林寺拳法	中国大会	男子初段の部	3位 藤川・岡田
少林寺拳法	中国大会	女子二段の部	2位 大平・下嶋・山崎
少林寺拳法	中国大会	男子段外の部	3位 佐谷・田中
少林寺拳法	中国大会	女子段外の部	2位 泉田・石田
少林寺拳法	山口県大会	男子二段の部	3位 田中・窪園
少林寺拳法	山口県大会	男子初段の部	1位 平田・石橋
少林寺拳法	山口県大会	男子初段の部	2位 平塚・渋谷
少林寺拳法	山口県大会	男子段外の部	2位 中山・益富
少林寺拳法	山口県大会	女子段外の部	2位 泉田・石田

第6回中国語弁論大会

—友好の道～心と心の握手—

経済学科1年 大久保智広



今年4月から中国語を初めて学び始めた私は、中国語を通して様々な出会いや体験をしてきました。とりわけ今回の弁論大会は一生忘れない私の輝く宝物です。それは大会実行委員長という大役をさせていただき事になった瞬間からスタートしたのです。不安と期待とを併せ持った私を支えてくれたのは、先輩方や友、そして私達学生に大会の多くを任せ、いつも笑顔で暖かく見守って下さった山田先生。毎日のバイトや学業の重なる中、辛い時もありました。しかし皆で心をひとつに団結してエネルギーに仕事を進めていく事ができました。そして当日は高校生や他大学生、一般の方々の多くの参加を得て、元気に楽しく大会を行う事が出来ました。「友好の道～心と心の握手」をテーマに掲げた第6回。日中友好に再び小さな亀裂が生じようとしている今日、その亀裂を埋め、さらには海を越え繋がる友好の金の橋を、しっかりと固く結び付けるのは、「心と心の会話」ではないのでしょうか。「私は困難な中で笑える者、苦しみを通して強くなる者、非難されて勇気を出す者を愛す」(トマス・ペイン)、大会を通してこの言葉の意味を確認しました。これからも日中友好の人材となるべく勇猛精進して参ります。大会開催にあたりご尽力下さいました市大教職員の方々に心から感謝申し上げます。

西日本学生中国語弁論大会で優勝して

国際商学科4年 上坂みゆき



大学4年間の中国語への挑戦が大勝利した瞬間、感激の涙と共に沢山の思い出が私の心の中を駆けめぐりました。初めて出場した大会での緊張、北京大学に派遣留学が決まった喜び、前回の中国語弁論大会での準優勝の悔しさ。数々の弁論大会出場や留学を経ることで、今回の大会では、私の課題であった表現力も身につけ、心を伝えた弁論ができ達成感と充実感で体中が満ちています。そして、今回は私の念願であった輝く優勝トロフィーを手にもすることができました。審査員の先生方は、私が経済学部であることにも関わらず発音の美しさに驚かれ、「どうすればそんなきれいな発音ができるのですか?」と不思議そうに褒めて下さいました。弁論大会に出場してきて、自分が輝くことのできる目標を見つけ、それに向かって頑張り続ければ必ずそれを達成することが出来るようになることができました。その挑戦する心が人間を強く大きくすることができると確信しました。やることはすべてやり終えたという過程があれば、いつもそこには次につながる喜びと悔しさ、発見があるからです。「目的は只一つしかない—前進することだ」(鲁迅)、これからも感謝の気持ちを忘れず、更なる目標に向かって挑戦し、前進して参ります。

日韓海峡圏学生サミットに参加して

経済学科4年 竹久祐樹



昨年10月末日、アクロス福岡の国際会議場において、日韓海峡圏学生サミットが開かれた。これは第14回日韓海峡沿岸県市道知事交流会議が、同年に福岡県で開催されるのに際して、該当する各県市道から若者が集まり、玄界灘ネットワークと日韓新時代の未来について熱く議論を交わす場として、また「日韓海峡圏共同体構築」の可能性を模索するために、福岡県主催で開催されたサミットである。日本側は、九州大学、下関市立大学、西南学院大学、佐賀大学、長崎県立大学から、韓国側は、東西大学校、釜山大学校、慶尚大学校、全南大学校、済州大学校から、代表者が各1名出席した。本学からは、私が出席した。

当日までに何度か箱崎の九州大学キャンパスで事前会議が行われたほか、サミット前日も九州大学の宿泊施設に一泊し、夜明け近くまで議論を練っていた。その甲斐あって、会議自体は終始円滑にかつ雰囲気よく仕上がった。

はじめに日本側の研究を私が報告し、続いて韓国側の代表者が同様に言い、その発表をもとに討論を開始した。討論の目的は、日韓学生共同宣言書を仕上げることにあるので、限定された時間内でそれをまとめられるよう、一人当たりの意見は可能な限り、簡潔に、要点を押さえた意見発表が要求された。およそ1時間の議論を経て、宣言書作成に取り組み、「日韓海峡圏姉妹都市間の市民交流を推進するために、渡航費用支援制度などを整備する」といった5項目の共同宣言を採択した。

昨年は戦後60年、韓国からすれば植民地解放60年の年であった。昨今政治的には、日韓関係が決して良好にあるとはいえない。せめてその打開策として市民レベル、学生レベルでの交流は絶やしたくない。

インターンシップ報告会

12月22日(木)の昼休み、124番教室において、学生・教員・受け入れ事業体関係者など約40名が



参加して、インターンシップ報告会が開催された。報告会は、インターンシップを体験した学生9名が各自約5分の持ち時間で報告し、それに対する質問やコメントを受ける形で進んだ。インターンシップは有意義であったとの報告が多く、その実施効果が大きいことを示していた。引き続き3時限目に3教室に分かれて、実習を終えた学生による討論会がおこなわれた。これは今年初めての試みであり、学生が3班に分かれ、それぞれ教員2名が司会として加わる形で進んだ。今後のインターンシップ実施にあたって、改善点などの提言もなされ、内容の濃い、充実した議論がおこなわれた。

(インターンシップ委員長 櫻木 晋一)

高嶋 正晴

私の研究

溝淵 彰



私は、経済学科で「経済政策論」と「公共経済学」の講義を担当しています。このほか専門演習（ゼミ）や教養演習、外書講読（英語）などの講義も担当しています。この4月で、こちらの大学に米で4年目になります。

最近進めている研究は、下関地域を中心とする関門地域あるいは山口県地域における産業振興・経済振興についてです。この関連から、本学の産業文化研究所がかかわっている、北九州市立大学との共同研究事業「関門地域共同研究会」に参加しています。

この研究会で、2003年度および2004年度には韓国および中国からの観光客誘致のための方策について研究し、本年度は、国際物流拠点としての関門港の可能性について研究を進めています。これらの研究の成果は、『関門地域研究』という報告書に毎年まとめられています。そして、本学では、この報告書の内容に即して、「関門地域論」という講義を開講しており、本年度から、市民の皆さんにも公開し、聴講できるようになっています。

私個人の研究としては、本年度は、ツーリズム（観光）とまちづくりを組み合わせて地域経済の持続可能なカタチで活性化しようという活動に着目し、山口県内各地で調査を進めているところです。こうした活動は、行政主導の経済政策に依存するのではなく、市民の方々がNPOなどの任意団体をつくり、自発的かつ積極的に、その各地域に根ざすカタチで地域経済の持続可能な地域経済のあり方を考えていこうという試みなのです。来年度は、ゼミ生らとともに各地域を訪問し、調査を継続する予定です。

青島での二ヶ月

武井 満幹



2005年8月から10月上旬までの二ヶ月余、中国・青島大学に交換教員として派遣された。友好交流15周年記念で訪れたのに続いて、二年連続二度目の青島訪問となった。これまでに長く中国に

滞在する経験のない私にとっては、二ヶ月といえども長期滞在の部類に入る。行く前は不安に思うこともあったが、一度訪れている地、姉妹都市、交流校であるという安心感もあってか不安は解消された。

青島大学では面識のある先生も多い日本語系に特にお世話になった。先生方や学生諸君との交流を通して、外国語教育や学生生活の一端をかいま見ることができたのは、非常に有意義なことであった。授業も数回担当したが、これは私としてはお礼のつもりであった。また青島大学で中国語を学ぶ日本人留学生とも交流し、何かと助けていただいた。

受け入れてくれた青島大学から大きなプレゼントがあった。10月1日は国慶節であるが、それを記念して行われた青島人民政府主催のパーティに招待されたのだ。このような会に自ら願ったとしても招待されるはずもない。青島大・下関市大との関係の深さを思わずにはいられなかった。

月並みな言い方ではあるが、今回の派遣は自分にとって非常に貴重な経験となった。このような機会を与えていただいた市大と青島大に心から感謝申し上げる。



現在、私は、米国を中心に保険の買取規制に関する研究を行っています。

保険買取とは、文字通り保険を買い取ることです。具体的に言えば、保険金受取人・保険契約者を保険会社に変更することです。その代わりに、保険を買った者（一保険買取会社）は、保険金を受け取ることができるというものです。保険買取ビジネスは、アメリカでは1980年代後半に行われ始め、主としてエイズ患者がこぞって保険を売却し、自らの医療費や生活費に充て、爆発的に普及しました。また、これらの人たちはリビング・ニーズ特約や契約者貸付を利用するのが困難な状況にある人たちでした。しかし、保険買取ビジネスに関して、保険売却者が通常弱い立場にあるため、保険買取会社が保険を安く買い叩くなど彼（彼女）らを食い物にするといった弊害も生じました。そこで、アメリカでは一部の州において保険買取を規制する法律が定められました。このような保険買取は今後、高齢化社会を迎え、医療費等の個人負担が増大するにつれてわが国でもニーズが高まるかもしれません。先日、わが国において末期がんの患者が生命保険を保険買取会社に売却したケースについて裁判が行われ、これについて判決がなされています。このような保険買取について今後、普及していくと考えるならば、アメリカと同様に保険買取会社が保険売却者を食い物にする弊害が生じる可能性は十分あると思われます。その際、わが国においてどのような規制をかけるのかについて考察する必要があると思います。どのような規制を行うべきかについてアメリカにおける現状を参考に検討することが私の行っている研究です。



『不安のア・ラ・カルト』

(西日本新聞社、2005年)

西田 雅弘

第21回市民大学の連続テーマ講座が単行本として出版された。「生きる！『不安』の時代に」という総合タイトルで、

2004年11月上旬から12月上旬にかけて連続講義された内容をもとに、担当者が共同執筆した。

現代を「不安の時代」と捉えた上で、それを知性の光に照らして乗り越えようと、哲学、文学、心理学、教育学、経済学の5名の本学教員がそれぞれの専門領域からアプローチしている。「不安」をタイトルにする新刊書が多い中、「不安」について多角的、重層的に理解できるユニークな本である。

本学では、1986年に9名の本学教員によって『エネルギー問題の再検討』（九州大学出版会）が出版されているが、本学教員の共同執筆による本の出版はそれ以来のことである。出版元の西日本新聞だけでなく、毎日新聞の地方版でも紹介された。

出版にあたって下関市立大学後援会の学術図書発行援助金の交付を受けたこともあり、学生への還元という意味合いを込めて、2006年度春学期にこの本をテキストにした「教養総合」の授業が予定されている。執筆者が共同して講義を担当する。この授業科目は一般市民にも開放されている。

旧豊浦郡で出前市民大学を開催



1市4町の合併による新下関市の発足を記念して、出前市民大学が企画・開催された。大学キャンパスを飛び出し、地域に出向いて市民大学が開催されたのは、初めてのことである。今年度は、旧豊浦郡管内で、以下の日程・テーマで4講座が行われた。

各会場とも盛況で、早くも来年度の開催を望む声が届けられている。

- ・10月23日(日) 豊北保健福祉センター
小笠原正志・助教授 「若さを保つ運動大作戦」
- ・10月27日(木) 川棚公民館
堀内隆治・学長 「地域福祉とまちづくり」
- ・10月30日(日) 菊川ふれあい会館《アブニール》
坂本紘二・教授 「環境コミュニティとまちづくり」
- ・11月4日(金) 豊田中公民館
山戸輝雄・教授 「動物と人間の共生」

子どもたちとの交流 ビビアン・ライ (クイーンズランド大学)



去年、四月から交換留学生として下関市立大学で勉強し、市内の小中学校を何度も訪問しました。実は、最初は本当に心配していた。私は子どもが苦手だからです。普段子どもと遊ぶ機会がありませんので、どうやったら子どもたちと楽しくつきあえるかがわからなかった。そして人前で話すのもかなり苦手なので、自分の国のことを日本語で子どもたちへうまく、わかりやすく伝えられるかどうか、それもわからなかった。自信があまりなく、不安を抱いたまま、それぞれの学校を訪れた。とても楽しくてよくできて、良い経験になったと思う。

一番印象に残ったのは、日本の子どもたちが自分の子ど

学会 市民も参加して 多様な学術講演会

下関市立大学学会の主催によって、以下のような学術講演会が開催された。

・2005年1月19日(水) 講師：内山浩道教授(最終講義)、演題：日本語の微妙な表現と外国語によるコミュニケーション(講演内容は『下関市立大学論集』vol.48-3に収録)

・2月16日(水) 講師：程 長泉(青島大学講師・本学客員研究員)、演題：私の研究―石坂洋次郎とその文学を中心に―

・7月8日(金)(講演終了後、ミニ・パーティ「講師とアメリカを語ろう」) 講師：慶應義塾大学法学部教授 鈴木透氏、演題：分裂と孤独―21世紀のアメリカをどう読み解くか―、参加者：学内72名、学外8名

・10月29日(土)(講演終了後、ミニ・パーティ「講師と語ろう」) 講師：京都大学名誉教授 竹内実氏、演題：足の美学から現代中国を覗く、参加者：学内23名、学外47名

・11月9日(水) 講師：ケンブリッジ大学助教授・フィッツウィリアム博物館貨幣メダル部長 Dr. Mark Blackburn(日本学術振興会の短期招聘研究員として本学で短期研修)、演題：今大学を考える～ケンブリッジ大学教師の眼差し～、参加者：学内101名、学外19名

以上の講演会のほか、講演会の事前セッションを含めて、学

生を中心に計5回の「くるまざセッション」が企画・実施された。



ブラックバーン助教授

ものときより人前で話せること。小学生でも発表させ、それでみんなに自信をつけさせる、それは今の教育の良いところだと思う。そして、小学校の子どもたちはとても元気よく、好奇心満々だと感じた。それに対して、中学校の生徒たちは小学生より内気であると、私は感じた。わずか2～3年の時間でそんなに違うのだろうか、人間の成長はとも不思議だと思った。

下関での一年間 ムスタファ・アルチュルク (ボアジチ大学)

2005年の4月、トルコのイスタンブールから来ました。日本に来る前に先輩にいろいろ教えてもらいました。その中で一番気になったのは学校訪問でした。5月に交流の機会があって、友達と一緒に自分の国を紹介するために熊野小学校へいきました。初めての小学校訪問だったのでよく準備しました。そのとき私の話はちょっと長すぎて、友達は自分の国をあまり紹介できなくなってしまいました。とても面白い経験になりました。その後もたくさんの学校へ行っているいろいろな思い出ができました。その学校訪問のとき、私たちが話して自分の国を紹介するのに、知らないうちに私たちも子供たちから日本を覚えてもらうと分かって、とても面白い文化交流になったと思います。

1年間の留学生活がそろそろ終わります。絶対に忘れられないたくさんの思い出を持って帰ります。

コンピュータ実習室の移設完了

学術センター地下のコンピュータ実習室が、図書館書庫に転用されるのに伴って、A棟132番教室と133番教室への移設工事が行われていたが、このほど完了した。この機会にパソコン68台が増設され、B棟229番教室のパソコンとあわせて教育用パソコンは200台となった。



下関市立大学後援会援助規程による表彰
(平成17年3月・平成17年9月)

【各種大会(体育・文化)出場報奨】

- * 第22回全日本中国語スピーチコンテスト山口県大会
 - 一般部門 第1位 上坂みゆき
 - 基礎部門 第1位 西川 雄一
- * 第32回山口県少林寺拳法大会
 - 組演武一般女子初段の部 第1位 大平・下脇・山崎
- * 第51回北九州・下関地区大学体育大会春季大会
 - 硬式庭球 女子団体 第2位
 - バドミントン 女子シングルス 第2位 松本 美穂
 - 女子ダブルス 第2位 池田・松本
- * 平成16年度山口県体育大会 少林寺拳法
 - 組演武一般女子初段の部 第2位 大平・下脇・山崎
 - 組演武一般男子二段の部 第2位 小西・早川
 - 組演武一般段外者の部 第1位 石橋・平田
- * 第51回北九州・下関地区大学体育大会秋季大会
 - 剣道 女子団体 第2位
 - バスケットボール女子 第2位
- * 平成16年度中国四国学生室内テニス選手権大会
 - 男子ダブルス 第1位 穴田 晃平(もう1名は他大学生)
- * 平成16年度秋季北九州学生テニス選手権大会
 - 男子シングルス 第1位 穴田 晃平
 - 男子シングルス 第2位 松永 貴成
 - 男子ダブルス 第2位 松永・柳谷
- * 第2回少林寺拳法中国地区学生大会
 - 組演武男子段外の部 第1位 石橋・平田
 - 組演武男子二段以上の部 第1位 小西・早川
 - 組演武男子段外の部 第2位 窪田・田中
- * 第28回中国語暗誦弁論大会(燎原会主催)
 - 弁論の部 第2位 上坂 みゆき
- * 第4回“世界橋”世界大学生中国語大会予選
 - 第2位 上坂 みゆき
- * 第52回北九州・下関地区大学体育大会春季大会
 - 陸上競技女子走幅跳 第2位 岡部 香織
- * 第40回記念少林寺拳法中国四国学生大会
 - 組演武男子段外の部 第1位 高橋・平田
 - 単独演武の部 第2位 石橋 圭一
- * 第33回山口県少林寺拳法大会
 - 組演武一般初段の部 第2位 窪田・田中
 - 組演武一般級拳士の部 第1位 石橋・平田
 - 組演武一般級拳士の部 第2位 岡田・平塚
- * 第37回山口県春季一般バスケットボール選手権大会
 - 男子 第2位

【各種資格取得報奨】

経済学科

H17.3卒	井上 瑠衣	秘書技能検定	2級
3卒	岡崎 淳子	国内旅行業務取扱主任者	
3卒	関 康宏	秘書技能検定	2級
		基本情報処理技術者試験	
		国内旅行業務取扱主任者	
3卒	前原 由典	初級システムアドミニストレータ	
4年	原田 陽子	ビジネス能力検定	2級
4年	本田麻衣子	秘書技能検定	2級
4年	前西 純	秘書技能検定	2級
3年	伊佐 香澄	秘書技能検定	2級
3年	大野由美子	秘書技能検定	2級
3年	大道絵梨香	秘書技能検定	2級
3年	久木元弥生	秘書技能検定	2級
3年	定常 好恵	秘書技能検定	2級
3年	古谷 勝男	中国語検定	準1級
3年	吉田 勇介	宅地建物取引主任者	

国際商学科

H17.3卒	岩谷久美子	一般旅行業務取扱主任者	
3卒	中村 芳子	簿記検定(商工会議所)1級	
3卒	山本 圭介	TOEIC750点以上	
9卒	山脇 雄太	TOEIC750点以上	
4年	池本 隆彦	TOEIC750点以上	
4年	上坂みゆき	中国語検定	準2級
4年	川平 将満	通関士	
4年	高瀬 栄律	簿記検定(商工会議所)1級	
4年	辻下景一郎	一般旅行業務取扱主任者	
4年	宇都宮千怜	一般旅行業務取扱主任者	
4年	安部奈緒美	一般旅行業務取扱主任者	
4年	小林 雅子	秘書技能検定	2級
4年	近藤麻利子	秘書技能検定	2級
4年	角 有貴	秘書技能検定	2級
4年	山崎麻美子	秘書技能検定	2級
3年	中嶋 浩章	初級システムアドミニストレータ	

行事記録(2005年9月～12月)

9月1日(木)	春学期定期試験開始
15日(木)	第2回就職ガイダンス
17日(土)	大学院入試
20日(火)	市民大学開講
26日(月)	大学院入試合格発表
30日(金)	春学期卒業式
10月3日(月)	秋学期授業開始
28日(金)	大学祭(～31)
11月16日(水)	第3回就職ガイダンス
19日(土)	推薦・特別選抜(帰国子女・社会人)編入学試験
28日(月)	同 合格発表
12月24日(土)	冬季休業開始
28日(水)	公務納め

平成18年度行事予定

4月1日(土)	春季休業(～7)
8日(土)	入学式
10日(月)	オリエンテーション(～11)
12日(水)	春学期授業開始
6月1日(木)	開学記念日
7月17日(月)	春学期補講(～21)
24日(月)	春学期定期試験(～8/4)
8月5日(土)	夏季休業(～9/30)
9月30日(土)	春学期卒業式
10月2日(月)	秋学期授業開始
27日(金)	大学祭(～31)
12月24日(日)	冬季休業(～1/6)
1月23日(火)	秋学期補講(～25)
2月1日(木)	秋学期定期試験(～14)
3月25日(日)	卒業式